

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：学校建設費

事業名【新】特殊地下壕等対策事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育財務課施設係 電話番号：058-272-1111(内8570)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 82,522 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	82,522	41,261	0	0	0	0	0	0	41,261
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

南海トラフ巨大地震に備えた亜炭鉱跡対策事業の地盤脆弱性調査において、県立東濃高等学校敷地が地盤脆弱性レベル1~2と判定されたため、安全対策を講じる必要がある。

地盤脆弱性レベル1…震度6弱でただちに陥没するような脆弱性が極めて高い範囲
御嵩町が対策を実施

地盤脆弱性レベル2…震度6弱~5弱で陥没する可能性の高い範囲
県(土地所有者)が対策を実施

(2) 事業内容

学校敷地の陥没防止工事を行う。地盤脆弱性レベル1と判定された箇所は御嵩町が工事を行うことから、地盤脆弱性レベル2と判定された箇所を町工事と一体として工事を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

国土交通省事業「特殊地下壕等対策事業」の補助率による

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	82,522	御嵩町への工事負担金
合計	82,522	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第2期岐阜県強靱化計画【令和2年3月策定】

第5章 強靱化の推進方針

3 施策目標とする指標の設定

(亜炭鉱廃坑対策の推進)

南海トラフ地震の発生が懸念されるなか、依然として広範に亜炭鉱廃坑が存在し防災対策事業を速やかに進める必要があることから、対策を要する地域が存在する市町の意向を踏まえながら、さらに効率的な調査・工事手法の確立・検証を含め、今後の新たな対策について検討を進める。

(2) 国・他県の状況

国土交通省

H25～R6 特殊地下壕等対策事業（亜炭鉱廃坑対策）

経済産業省

R2～R6 南海トラフ巨大地震に備えた亜炭鉱跡対策事業

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

学校敷地は、地盤脆弱性レベル1とレベル2が混在しているため、レベル1の箇所対策工事を行う町にレベル2の箇所の工事を依頼する。

学校敷地を一体として工事することで、効率的に工事を行うことが可能である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和5年度末までに工事を完了し、陥没を防止する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①工事の完了					100	0%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない 	
(評価) 3	学校敷地内に亜炭鉱廃坑が存在するため、陥没を予防する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 0	令和5年度から事業に着手する。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている 	
(評価) 2	御嵩町での工事において、予防工事のコストを低減するため、新工法などの検証を行ってきた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 陥没を予防するため、早急な対策工事が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	